

二十四節気 **寒露**  
(10月8日)

七十二候 **菊花開** (きくのはなひらく)  
(10月13日)

**蟋蟀在戸** (きりぎりすとにあり)  
(10月18日) 報告者 上田真佐江

1 季節の移ろい **寒露** 露は冷たく空気が澄んで、空が高くなったよう。菊の花が開き、野に居たキリギリス（コオロギ）は暖かい人家の戸に在る季節。冬鳥が喜びそうな木の実も色づいています。



**オオシマザクラ 大島桜** バラ科  
公園入り口で最初に紅葉しました。落葉も始まっています。



**クサギ 臭木** シソ科



**ススキ 薄** イネ科  
茅葺屋根の材料。開いた穂には、冠毛を付けた果実がぎっしり。



**ガマズミ 莢蒾** レンブクソウ科



**ゴンズイ 権萃** ミツバウツギ科



**コナラ 小檜** ブナ科



**ノダケ 野竹** セリ科  
左は雄蕊が目立つ時期。右は既に若い果実たち。



**ヒヨドリバナ 鶉花** キク科  
渡りをする蝶 アサギマダラが好む花。当園でアサギマダラの目撃記録があります。



**コマユミ 小檜**  
ニシキギ科



**サワシロギク 沢白菊** キク科  
千葉県レッドリスト  
最重要保護生物 (A)  
絶滅危惧Ⅰ類



**イヌザンショウ 犬山椒** ミカン科  
サンショウのように食用になりませんが、アゲハやクロアゲハの食草です。



**クリ 栗** ブナ科



♪ 森のきのこ いろいろ。



**ツルタケ**  
テングタケ科



ベニタケ科チチタケ属  
の仲間か



**コウヤクタケ**の仲間



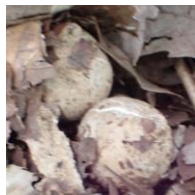
**ノウタケ** ハラタケ科



黄色い幼菌（出たばかりのきのこ）



紅色の幼菌（出たばかりのきのこ）



ツチグリの幼菌  
（出たばかりのきのこ）か？



**ヒトヨタケ**  
ナヨタケ科  
まだまだ伸びます！

**2 林床の整備** アズマネザサなど、定例活動日に刈られた下草を掃き集めました。

- 目的 ①10月17日きのこ観察会に向けた観察場所整備  
②コナラ等広葉落葉樹育成に向けた整備



**3 ナラ枯れ調査** 今年度の新規被害木は、昨年度と同様の区域内で新たに43本を記録。昨年度被害木は計54本（内2本は報告後に追記）。10月5日に実施された柏市、森林総研、業者、NPOによる合同確認に基づき、今後の対応策検討の材料となる報告を作成するために新規被害木の状況を調査しました。



穿入孔を取り囲む粗いフラス（写真では半分脱落）は、最初に雄が穿入し出したフラス。



雄が開けた穴に雌が入り、さらに掘り進んで、坑道内に卵を産みます。



根元にたまった粉状フラス増殖した幼虫は粉状のフラスを大量に出しながら坑道を伸ばします。幼虫が食べるのは、メスが持ち込み坑道内に植え付け繁殖した菌類。



樹液を出している被害木のほとんどは、葉が枯れていません。

**4 落葉広葉樹（コナラ、クヌギ、イヌシデ、イヌザクラ、ウワミズザクラ、ホオノキなど）の育成** ナラ枯れの大打撃で、森の中に複数の空間が生まれました。明るくなりすぎた場所でアズマネザサが繁茂するのを防ぎ、また、冬は落葉して明るく、春にランなどの花が咲くような森の生物多様性を維持するために、落葉広葉樹の育成を進めています。方法を大別すると次の2通りです。

- ①自然に生えている幼木の保護。②果実（どんぐり等）や実生を採集し育成。



10数本のコナラの幼木が生えた場所に保護枠を設置。撮影：橋本谷弘司



コナラの幼木  
撮影：橋本谷弘司

昨年の秋にコナラ、クヌギ、ホオノキをポットで育て始めたところ、入れたつもりのないヤマグワが何本も生えてきました！  
今年もポット苗を作り増やします。



参加者

計9名